※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　自立生活科

教科	自立生活	科目	学生活発展	単位数	1～8 単位	年次	2.3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自らの特性を知り、社会における障がいのありかたについて理解を深め、社会の一員として生きていくための補完的な科目を設置する。
特定の教科・科目の枠にとらわれず複数の教員がチームを組むなど柔軟に指導に取組む。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・社会の一員として生きていくために必要な知識・技能・態度を養う
【思考力、判断力、表現力等】
・個々の生徒が自分の生活を見つめ、さらには自分のもつ課題を見つめる
【学びに向かう力、人間性等】
・自らの特性を知り、社会における障がいのあり方について理解を深める
・特性を理解したうえで、補うべき力について理解を深める

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自己理解を進める上での自分を見つめなおすスキル。進路選択をする上でどのような選択肢があるかという知識。他者とコミュニケーションをとる上での最低限の礼儀作法。情報機器に触れ、基本操作を身につける。	自己理解を進める上で、過去から将来に向けてつなげる深い思考。進路選択の際に、自分の希望と現実とを照らし合わせより良い判断をする力。他者との円滑なコミュニケーションをとるための表現力。PC による文書作成などの際に手順を自ら判断し作成する。などが身につけている。	自己理解、進路選択、コミュニケーション力向上、情報機器操作、それぞれのテーマに取り組んだ際に、個々の課題に気付き、克服に向け取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	協働	畑作業	a:農機具の使い方を学ぶ b:効率よく作業する方法を学ぶ c:周りを見て必要な仕事を見つけ取り組む	実践など	実践など	実践など
	進路選択	進路選択	a:選択肢を知る、調べる b:希望と現実の照合 c:希望に近づけるための課題に取り組む	レポートなど	レポートなど	レポートなど
後期	コミュニケーション	コミュニケーション力を高める	a:コミュニケーションをとる上での礼儀作法を身につける b:円滑な会話になるための表現力 c:力を向上させるための課題に取り組む	実践など	実践など	実践など
	情報	情報機器操作	a:基本操作を身につける b:課題作成の際に手順を正しく判断し選択する。 c:操作技術向上に向け、自らの課題に気付き取り組む	レポートなど	レポートなど	レポートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度